

小野長寿の郷(仮称)構想

理想の長寿社会の実現をめざす
新しいまちづくり



兵庫県 県土整備部

●長寿の郷構想

■社会背景と課題

社会背景

- 1 成熟社会の到来
- 2 高齢社会の到来と社会保障制度の確立
- 3 IT社会の進展
- 4 自然回帰志向の高まり
- 5 地球環境問題への関心の高まり

課題

- 1 豊かなライフスタイル実現への支援
- 2 アクティブエイジング(※)の実現
- 3 高齢者の社会参加の促進
- 4 快適な居住空間の提供と循環
- 5 環境と共生した地域社会の実現



「長寿の郷」構想

長寿の郷とは

- ① 高齢者の大半を占める元気な高齢者が、第一線を退いた後の人生を趣味や学習はもちろん、生きがい就労、社会参加活動などを通じて、自己実現を図りながら、こころ豊かに生きていくところとする。
- ② 今日の自然回帰や農村還流志向の高まりに的確に対応し、子世代など都市住民に、自然とのかかわりのなかで温かなふれあいのある快適空間を提供する場とする。



■「長寿の郷」がめざすもの

- ① **生きがいのある生活空間の創造**
高齢者らが生きがいと誇りを持って暮らすことができる生活空間を創造
- ② **安心できる生活空間の創造**
“こころ”と“からだ”を癒やししながら、安心して暮らせる生活空間を創造
- ③ **親と子の生活空間の創造**
“交流型家庭”とでもいうべき親と子の新しい住まい方を提案
- ④ **循環型のまちづくり**
世代間の住み替えシステムを提案し、三世代型の持続的なライフスタイルを創造
- ⑤ **ふるさとの創造**
美しい自然や温かい人間関係が豊かに息づく、都市住民の安心空間としての新しい“ふるさと”を創造

●小野長寿の郷(仮称)構想の基本概念

基本概念

多自然地域で三世代が交流する
健康・安心・生きがいのまちづくりモデル

「小野長寿の郷(仮称)」

基本方針

- ・21世紀に向けた健康社会づくり
- ・総合的な安全・安心・生きがいの提供
- ・新しいライフスタイルを支援する生活環境の提供
- ・豊かな自然環境をいかした癒やし空間の提供
- ・ソフトからのまちづくりの推進

※アクティブエイジング:「活力ある高齢化」の意で、高齢者が長年培ってきた知識や技術や経験を生かし、様々な形で社会参加し、社会を支える側に立つ概念

1 開発モデル

自然環境を保全しながら、比較的まとまった宅地供給が可能な区域に居住クラスター(集落)を配置し、地区全体で900戸の住宅を整備します。

◇ 居住クラスター(集落)

- ・居住者が高齢者中心であることから、居住クラスター(集落)の規模を直径約500mに設定。
- ・一般型住宅地(造成住宅地)や緑間型住宅地(自然地形をそのまま活用した住宅地)などの宅地を供給。

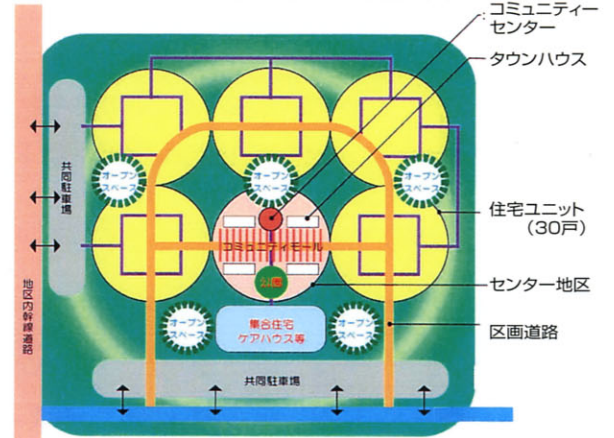
◇ 住宅種別(賃貸住宅を想定)

世帯用住宅(戸建・600戸)を主体とするが、単身者の利用を考慮して集合住宅(300戸)も整備。

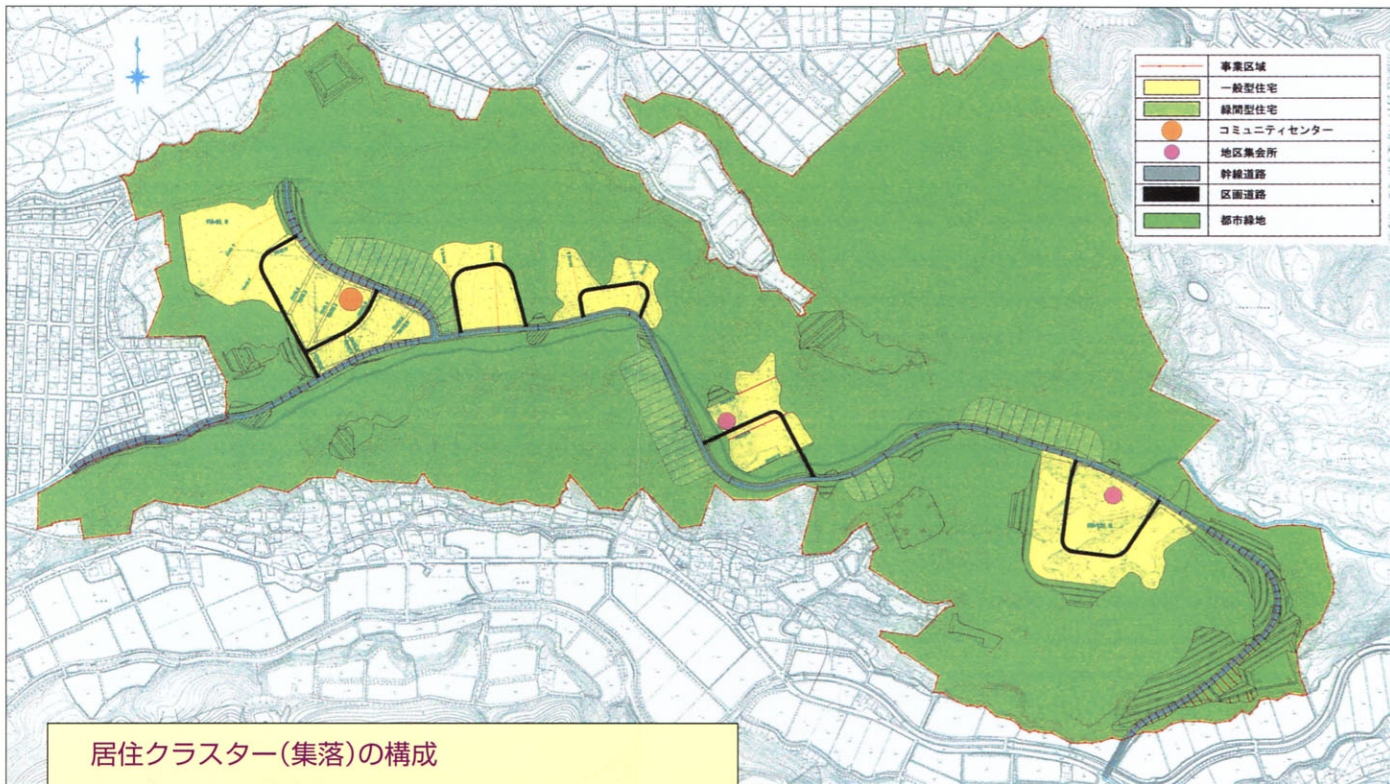
◇ 人 □

1,500人(2人/戸×600戸+1人/戸×300戸)

居住クラスター(集落)内の配置計画



● 土地利用計画



居住クラスター(集落)の構成

- 1ブロック : 隣近所として6戸
- 1ユニット : 協働活動レベルで居住地域の自律的な環境管理を行う単位。(6戸×5=30戸)
- 1クラスター : 自治会レベルで自律的な環境管理を行う単位。(集落)(30戸×7~8ユニット=210~240戸 [平均225戸])
- 地区全体 : 225戸×4(宅地可能区域)=900戸

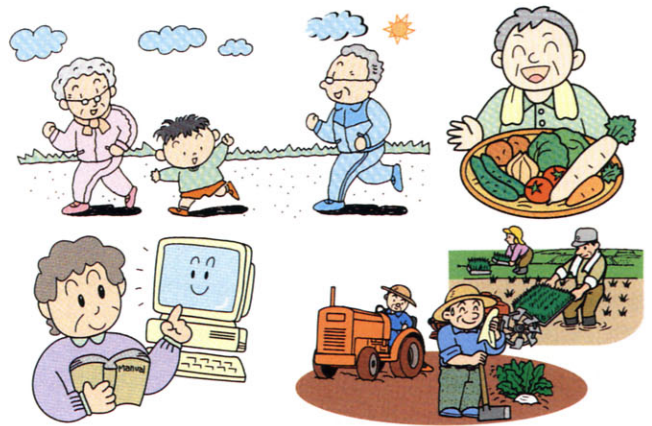
注) この開発モデルは、ひとつのモデルケースとして検討したものであり、今後、民間事業者らが事業化の検討を行う際の参考資料として提供することを目的としたものです。



緑間型住宅のイメージ

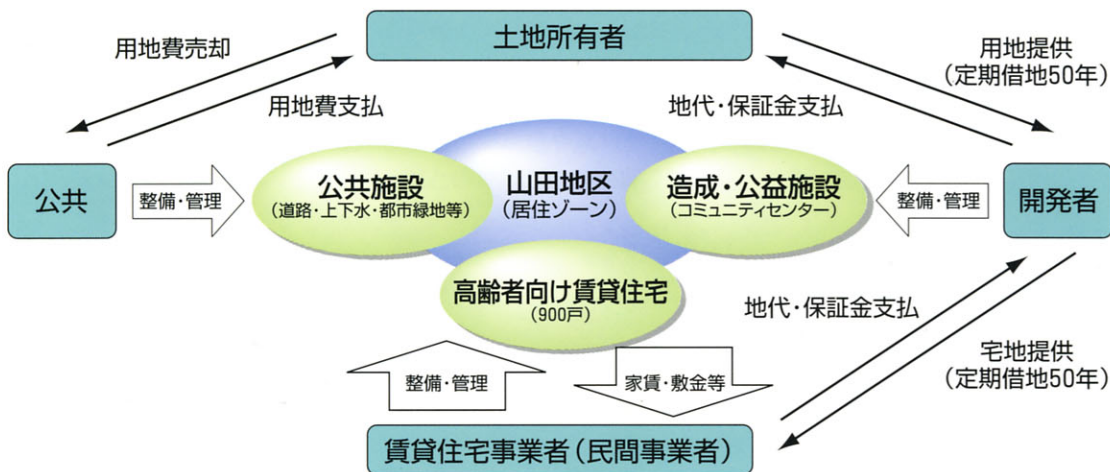
2 安全安心サービス、生きがいがづくり

- ・ 予防重視の健康づくりサービスを提供します。
- ・ 在宅介護ステーションや診療所を域内に誘致。高齢者が集まって住むことの長所を生かした効率的で密度の高い在宅介護サービスを提供します。
- ・ 趣味や健康維持を支援する生涯学習や世代間交流、必要なサービスを地域住民が自分たちで提供していくコミュニティビジネスを始めとする生きがい就労など、様々な生きがいがづくり活動の場・機会を提供します。



3 まちづくりの手法

● 定期借地権を活用した民間事業者による賃貸住宅の整備・運営

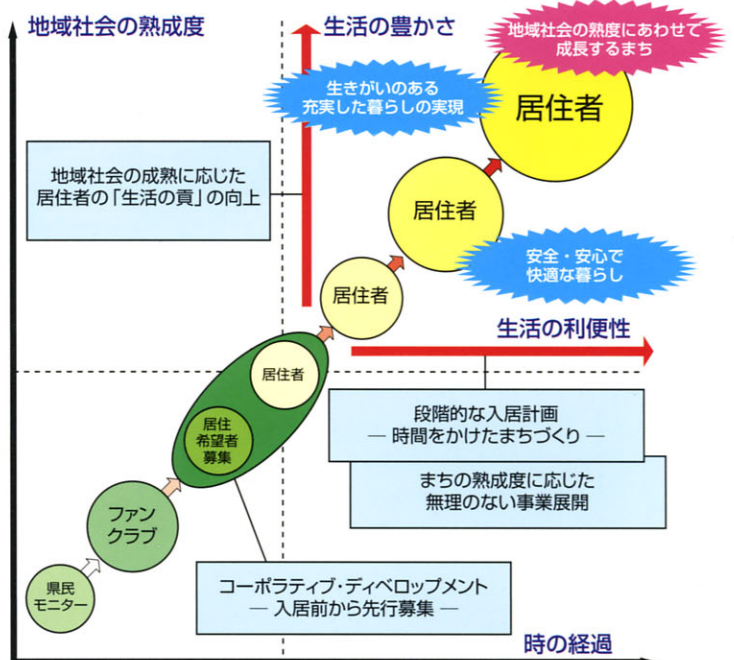


● コーポラティブ・ディベロップメント手法によるまちづくり

計画づくりの段階から居住希望者が参画する「コーポラティブ・ディベロップメント手法(※)」の導入により、地域社会の形成を段階的に進めるとともに、入居後も居住者がまち全体の維持・管理・運営に主体的に参画するための核となる「まちづくり運営組織」へと展開する「ソフトのまちづくり」に取り組みます。

※コーポラティブ・ディベロップメント手法:

住宅地の開発に際し、居住予定者が参画して、自分たちの希望を反映させた計画をつくり、その計画に基づいて行う開発手法



1 全体イメージ

(1) 健康と交流の森の創造 (里山整備)

広大な緑地を活用して、心と体の健康づくり等の効用を有し、子どもたちの育成と、高齢者の社会参加活動の場ともなる“魅力あふれる里山”を創造します。



(2) 健康・交流施設の設置 (施設整備)

健康と交流の森をフィールドとして活用しながら、右記の多様な機能を持つ健康・交流施設を森の中に配置し、県民の心身の健康を創造します。施設整備にあたっては、里山活動参加者、地元住民、NPO、社会福祉法人、民間企業、行政(県・小野市)等多様な事業主体の参画を促します。

施設機能

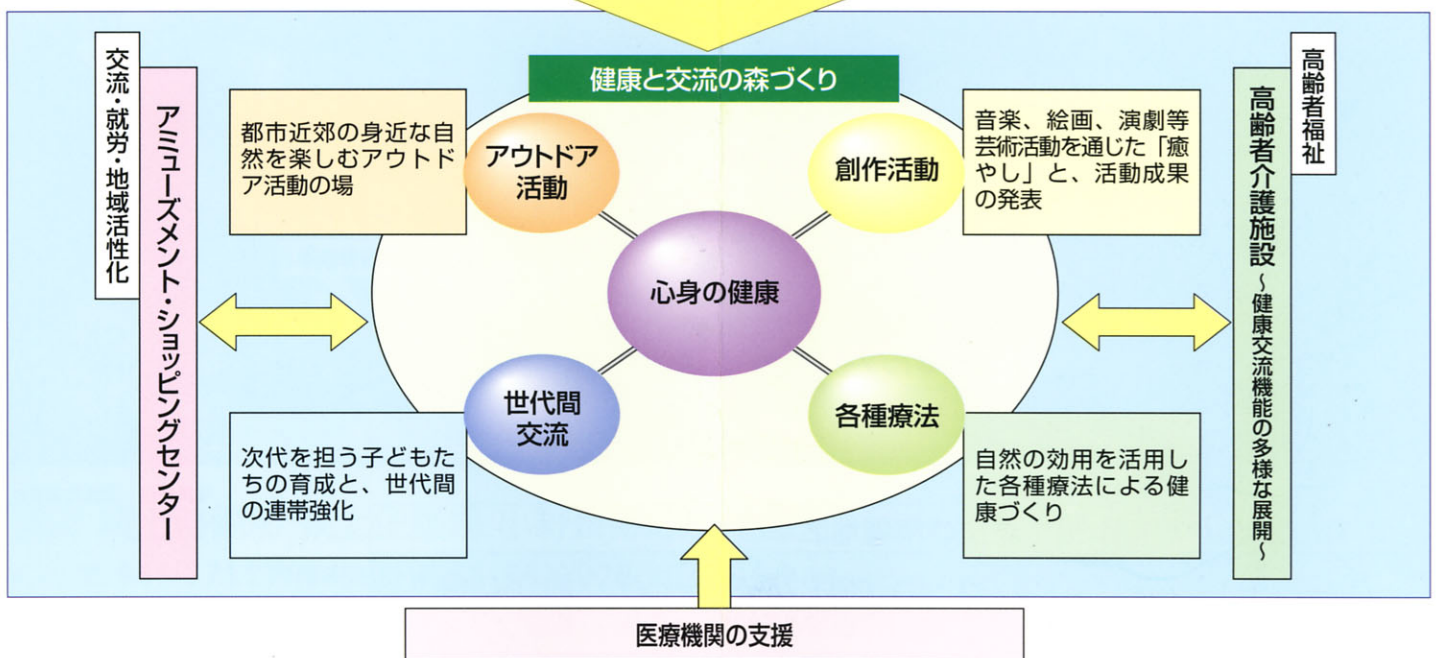
- 自然療法(森林療法)
- 高齢者福祉
- 創作活動
- アウトドア活動
- 世代間交流
- 交流、就労、地域の活性化

2 土地利用イメージ



3 施設イメージ

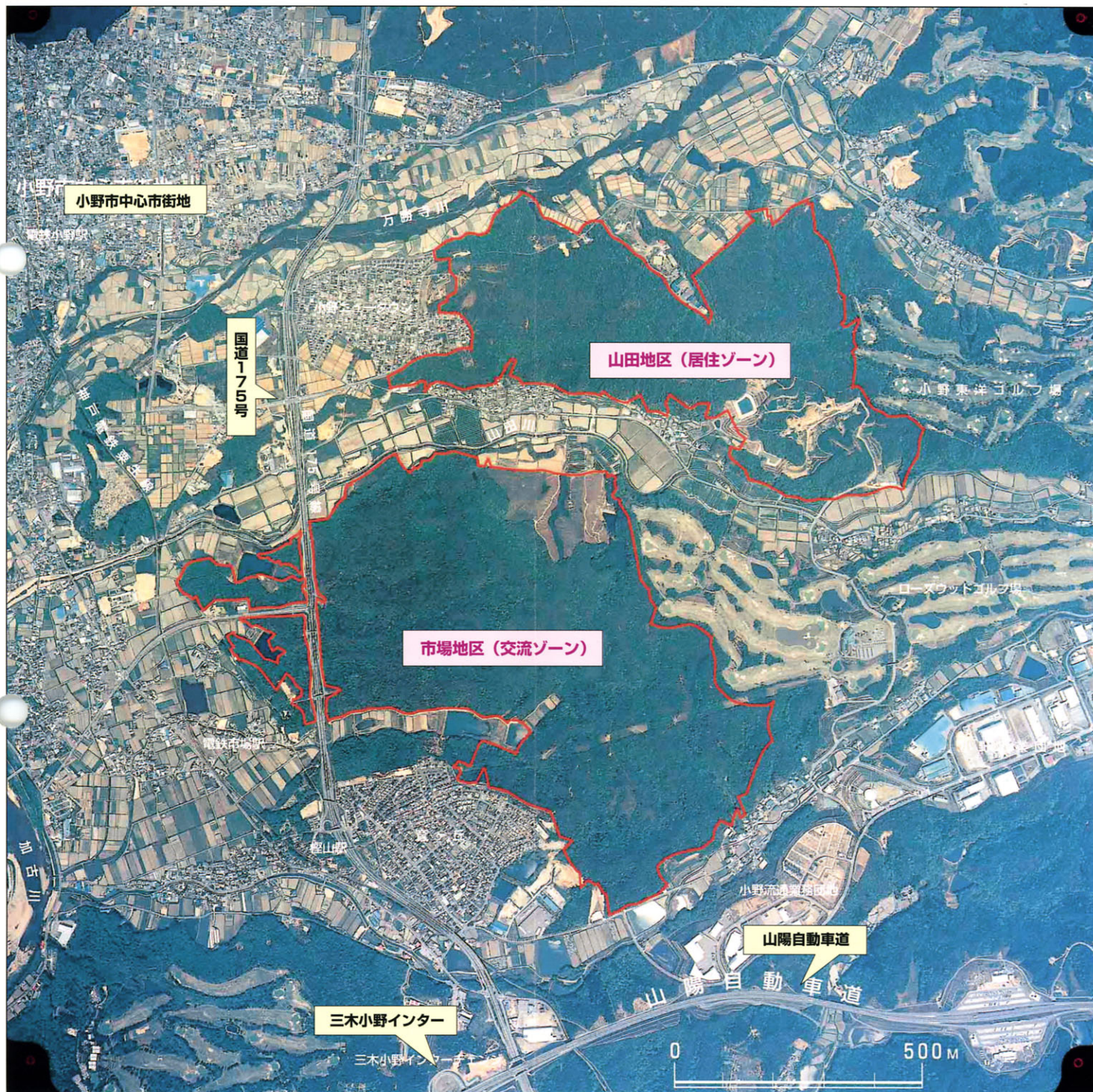
想定施設(例)		想定ソフトプログラム(例)	イメージ
健康づくり各種療法 自然療法(森林療法)	<ul style="list-style-type: none"> ■自然療法(森林療法)実践フィールド <ul style="list-style-type: none"> ・森林浴広場 ・体力別トレッキングコース ■健康増進温浴施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然療法の活用による心身の状態に応じた個別健康づくりプログラムの作成・指導 ・健康づくりに対する自然療法の有効性の研究 ・自然療法関連情報のデータベース構築 ・自然療法を学ぶ講座、シンポジウムの開催 	
	<p>高齢者福祉</p> <ul style="list-style-type: none"> ■高齢者介護施設 ～健康・交流機能の多様な展開～ <p>団塊の世代以降の高齢者に、生活支援・介護サービスとともに、健康づくりサービスや多様な交流プログラムを提供し、安心かつ生きがいに満ちた高齢期の暮らしを実現</p>		
創作活動	<ul style="list-style-type: none"> ■アートパーク ■自由工房 <ul style="list-style-type: none"> ・アトリエ ・工作室 ■木立の中の野外劇場 	<ul style="list-style-type: none"> ・ランドアート創作コンテスト ・森の中のギャラリー（高齢者らの絵画、陶芸作品展） ・演劇サークル、音楽サークルによる野外演劇祭、音楽祭 	
	<p>アウトドア活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ログハウス、ツリーハウス ■キャンプ場 ■野鳥観察小屋 	<ul style="list-style-type: none"> ・ログハウス／ツリーハウスづくり ・自然体験(林業体験、農業体験、里山生活体験) ・デイキャンプ ・野鳥観察会、巣箱づくり 	
世代間交流	<ul style="list-style-type: none"> ■森林型プレイパーク ■ビオトープ 	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐材を活用した遊具づくり ・自然とふれあい、学ぶネイチャーゲーム等の森あそびプログラム ・自然探索（自然観察、ハイキング） ・ビオトープづくり 	
	<p>交流・就労地域の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ■アミューズメント・ショッピングセンター <p>地元住民や小野長寿の郷居住者の就労の場、交流の場、生活利便の場、並びに民間事業者らによる健康・交流事業の場として、小野市を始めとする地域の活性化に貢献</p>		



計画予定地

計画予定地は、山田地区と市場地区に分かれており、全体で約340haあります。山田地区と市場地区とも標高90～130mの丘陵地で、両地区の間を流れる山田川の周辺には田園風景が広がっています。

- 山田地区 居住ゾーンとして、良好な緑環境を備え、高齢者向けの賃貸住宅（900戸）を中心としたまちづくりを目指します。
- 市場地区 交流ゾーンとして、山田地区居住者、地域住民、都市住民が自然とふれあい、楽しみ、学ぶ参加体験型空間、多様な生きがい就労の場の創造を目指します。



写真提供：国際航業株式会社

所在地	小野市山田地区及び市場地区		
区域面積	全体 約340ha	うち山田地区 (居住ゾーン)	約140ha
		市場地区 (交流ゾーン)	約200ha

計画地の位置

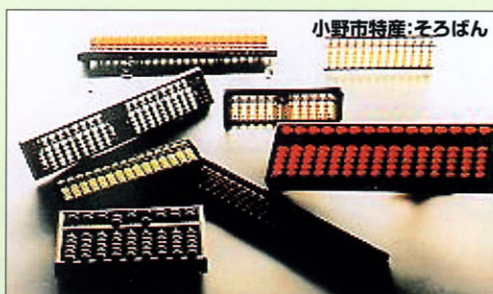


小野市は、北播磨地域の南端に位置し、古くからそろばんと家庭用刃物の生産地として発展を遂げてきました。

小野長寿の郷（仮称）の計画予定地は、小野市郊外に広がる緑豊かな丘陵地で、山陽自動車道三木小野ICから北に約2km、中国自動車道滝野社ICから南に約10kmの国道175号沿いにあり、神戸市中心部である三宮まで約25kmという恵まれた道路網を有する交通便利な立地です。最寄りの駅は神戸電鉄粟生線市場駅、JR加古川線市場駅です。

兵庫県 県土整備部 県土企画局 小野長寿の郷担当
 TEL 078-341-7711 内線4583・4585 FAX 078-362-9264
 URL <http://web.pref.hyogo.jp/onochoujyu/>
 Email kendo_onochoujyu@pref.hyogo.jp

小野市はこんなまちです



小野市特産:そろばん



小野市特産:家庭用刃物



浄土寺



ひまわりの丘公園



鴨池



小野工業団地